

第125期 報告書

2022年4月 1 日から
2023年3月31日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108



※「アグリー」とは「アグリカルチャー」と「グリーン」を掛け合わせた造語です。
「日甜アグリー戦略」につきましては、当社ホームページ
をご参照下さい。
<https://www.nitten.co.jp/agreen.html>

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は去る3月31日をもって第125期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。



2023年6月

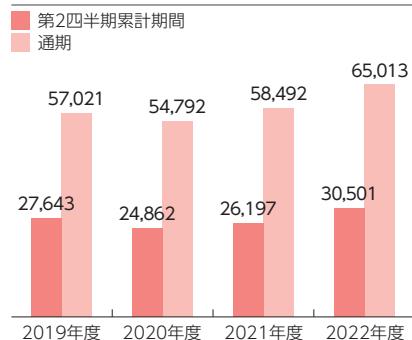
取締役社長 **石栗 秀**

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和され、個人消費に緩やかな持ち直しが見られるものの、原材料やエネルギー価格上昇の影響等、先行きが非常に不透明な状況となっております。

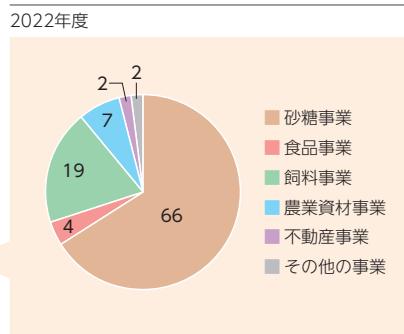
消費者の低甘味嗜好や輸入加糖調製品等の代替甘味料の増加等からこれまでも減少傾向にあった国内の砂糖消費量は、コロナ禍の影響によりさらに落ち込み、未だ十分に回復できておらず、砂糖業界は大変厳しい状況となっております。

2022年産の原料てん菜による製糖作業は、10月上旬より開始いたしました。昨年の原料てん菜は、特に十勝地方において夏場の高温多雨により生育が停滞し、収量・品質に影響を受けました。品質管理の徹底による原料てん菜品質の維持・劣化抑制、製糖資材の使用量の抑制に努めましたが、ウクライナ情勢や円安の影響等によるエネルギー価格の高騰等により、製造コストは著しく増加しました。

売上高 (百万円)



売上高構成比 (%)



経常利益 (百万円)



当連結会計年度は、主に砂糖事業と飼料事業における販売価格の上昇により、売上高は前期比11.1%増の650億1千3百万円となりましたが、経常利益は、主に原材料価格の高騰やエネルギーコストの増加に伴う飼料事業の減益により、前期比29.3%減の19億9千3百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比36.2%減の12億6千万円となりました。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や輸入加糖調製品等の代替甘味料の増加等により砂糖の消費減少が続く中、2020年以降はコロナ禍における経済活動抑制の影響が重なり、深刻な砂糖の消費低迷に直面しております。

政府は、砂糖消費が低迷する中で、糖価調整制度の持続性を確保するため、昨年12月の食料・農業・農村政策審議会 甘味資源部会での議論を踏まえ、てん菜・てん菜糖への政策支援を、砂糖生産量にして現在の64万トンから2026砂糖年度までに55万トンへ漸減させることを決定しました。砂糖を主な事業とする当社グループに取りましては、非常に厳しい決定となっております。

当社グループは、このような著しい外部環境の変化に適應する経営戦略の再構築が急務と捉えており、今まで以上のコスト削減への努力に加え、適正価格での販売を含めた事業基盤の強化に取り組んでまいります。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期末 2022年3月末現在	当期末 2023年3月末現在
資産の部		
流動資産	54,952	57,054
固定資産	45,506	46,094
有形固定資産	23,607	24,411
無形固定資産	425	513
投資その他の資産	21,473	21,169
資産合計	100,458	103,149
負債及び純資産の部		
流動負債	22,626	25,724
固定負債	9,913	9,290
負債合計	32,540	35,015
純資産合計	67,918	68,134
負債及び純資産合計	100,458	103,149

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	前期 2021/4/1~2022/3/31	当期 2022/4/1~2023/3/31
売上高	58,492	65,013
売上原価	43,216	49,873
販売費及び一般管理費	13,046	13,632
営業利益	2,229	1,506
営業外収益	792	740
営業外費用	203	253
経常利益	2,818	1,993
特別利益	1,499	206
特別損失	1,230	291
税金等調整前当期純利益	3,087	1,908
法人税等	1,112	647
当期純利益	1,975	1,260
親会社株主に帰属する当期純利益	1,975	1,260

親会社株主に帰属する

当期(四半期)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



※決算状況の詳細および中期経営計画については2023年5月12日に当社ホームページにて公表いたしました2023年3月期決算補足説明資料をご覧ください。

<https://www.nitten.co.jp/library.html>



セグメント別の概況

砂糖事業

事業内容 | ビート糖、精糖
ビート糖蜜、精糖蜜 等

ビート糖は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ちこんだ販売量が、清涼飲料向けや菓子向け等の業務用において回復が見られ、販売価格も上昇したことから、売上高は前期を上回りました。

精糖は、家庭用販売量が減少したものの、業務用販売量の回復と販売価格の上昇により、売上高は前期を上回りました。

砂糖事業の売上高は、428億1千8百万円(前期比13.2%増)となりましたが、エネルギーコストの増加の影響が大きく、2億4千3百万円の営業損失(前期は3億3千1百万円の営業損失)となりました。

<新製品紹介>

北海道まるやか てんさい糖

北海道オホーツク産てん菜を原料としております。てん菜由来の色と風味がまるやかに残っており、やさしい甘さとコクが特長です。



食品事業

事業内容 | イースト、オリゴ糖等食品素材
(オリゴ糖、ベタイン 等)
その他食品

イーストは、適正価格での販売に努めたこと等により、売上高は前期を上回りました。

オリゴ糖等食品素材は、ラフィノース等のオリゴ糖の販売量が増加し、売上高は前期を上回りました。

食品事業の売上高は、25億2千8百万円(前期比7.6%増)となり、4千9百万円の営業利益(前期は2千1百万円の営業損失)となりました。

「とち野酵母®」 公式アカウントを 開設しました。

Instagram

https://www.instagram.com/tokachi_no_koubo/

Facebook

<https://www.facebook.com/tokachi.no.koubo/>



飼料事業

事業内容 | 配合飼料
ビートパルプ 等

配合飼料は、コロナ禍による牛乳消費減退の影響を受けて販売数量は減少しましたが、穀物相場の影響を受けて販売単価が上昇したことにより、売上高は前期を上回りました。

ビートパルプは、原料となるてん菜の収量減少に伴う減産により、販売量、売上高ともに前期を下回りました。

飼料事業の売上高は、125億3千6百万円(前期比11.4%増)となりましたが、原材料価格の高騰やエネルギーコストの増加の影響が大きく、4億4千万円の営業利益(前期比66.7%減)となりました。

<新製品紹介>

ニキロン

1日に牛1頭に
給餌する配合飼料を2kg置き換えることで手間いらずのオールインワン飼料です。
必須ミネラル、ビタミン、食塩、カルシウムの補給作業を軽減できます。



農業資材事業

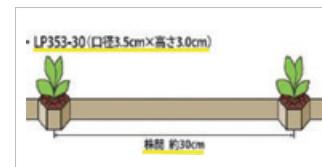
事業内容 | 紙筒(ペーパーポット®)
農業用機械器具、農業資材、種子 等

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、ビート用の販売量が減少したものの、そ菜用の販売量が増加し、売上高は前期を上回りました。

農業機材は、移植機材・播種機材等の売上減少により、売上高は前期を下回りました。

農業資材事業の売上高は、43億5千3百万円(前期比3.0%増)となり、営業利益は2億7百万円(前期比9.1%増)となりました。

<「チェーンポット®」新規格の紹介>



【LP353-30】

株間30cm。口径が従来品より大きめで、キャベツやブロッコリーなどの栽培に適しています。



- 子会社 サークル機工株式会社がキャンプ用品などを自社製作、販売を行うプライベートブランド「円鐵工所」のECサイトを開設しました。
<https://storecircle.theshop.jp/>

不動産事業

事業内容 | 不動産賃貸 等

不動産事業は、売上高、営業利益とも、ほぼ前期並みとなりました。

不動産事業の売上高は、15億1千万円(前期比2.5%減)となり、営業利益は9億6千5百万円(前期比0.3%減)となりました。

その他の事業

事業内容 | 貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業 等

その他の事業は、スポーツレジャー施設の来客者数が回復したものの、貨物輸送や書籍販売の減少により、売上、利益とも減少しました。

その他の事業の売上高は、12億6千5百万円(前期比2.8%減)となり、営業利益は7千万円(前期比25.9%減)となりました。



- 子会社 十勝鉄道株式会社
4月7日に創業100周年を迎えました。

日甜グループ 中期経営計画について

■ 第1次中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期）が終了いたしました。

2年目の2022年3月期に目標（経常利益27億円）を達成したものの、最終年度の2023年3月期の経常利益は目標を下回りました。

	第1次日甜グループ中期経営計画				第1次 中期経営 計画目標	(百万円)
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期		
売上高	57,021	54,792	58,492	65,013	58,300	売上は目標達成 利益は未達
経常利益	2,085	2,349	2,818	1,993	2,700	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,340	1,642	1,975	1,260	1,830	

■ 第2次中期経営計画（2024年3月期～2028年3月期）がスタートいたしました。

砂糖消費の低迷や燃料等の価格の高騰は継続しておりますが、この状況下での業績の回復、そして成長を図っていくことを目指し、2024年3月期から5年間の「第2次日甜グループ中期経営計画」を策定いたしました。

以下の目標を達成し、持続可能なてん菜産業の実現を図るべく、日甜グループ一丸となり取り組んでまいります。

基本方針

持続可能なてん菜産業の創造にチャレンジし、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく。

非財務目標	1 「お客様満足度の追求」	▶	基盤事業の強靱化 成長事業への経営資源の再配分
	2 「働きやすい環境の実現」	▶	人材への投資 安全衛生対策およびコンプライアンスの徹底
	3 「環境への配慮、社会貢献の推進」	▶	環境負荷低減の取組み強化 農業、産業など地域や社会への貢献
利益目標	最終年度である2028年3月期までに営業利益24億円、経常利益28億円 砂糖事業の省エネ・省人・省力化や、成長事業（食品・飼料・農業資材）の販売強化等で、利益拡大を目指します。		
資本政策	1株当たり配当金額50円以上、必要に応じて自己株式を取得 株主還元により、株式価値の向上と資本効率の改善を目指します。		

会社概要・株式情報 (2023年3月31日現在)

会社概要

商号	日本甜菜製糖株式会社 <small>にっぽんでんさいせいとうかぶしきがいしゃ</small>	
本社所在地	東京都港区三田三丁目12番14号	
設立	1919(大正8)年6月	
資本金	82億7,941万4,800円	
従業員の状況	企業集団の従業員数 当社の従業員数	773名 631名 <small>※上記には臨時従業員は含まれておりません。</small>
子会社	名称	事業内容
	十勝鉄道株式会社	貨物自動車運送業
	スズラン企業株式会社	石油類・書籍販売およびスポーツ施設営業等
	ニッテン商事株式会社	食品卸売業
	サークル機工株式会社	農業用機械器具の製造販売
	土別スズランファーム株式会社	農産物の生産・販売

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,197千株	8.96%
明治ホールディングス株式会社	993	7.44
ニッテン共栄会	887	6.64
農林中央金庫	514	3.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	497	3.73
東京海上日動火災保険株式会社	428	3.21
株式会社みずほ銀行	355	2.66
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社	320	2.40
スズラン持株会	272	2.04
DM三井製糖ホールディングス株式会社	265	1.99

(注) 1. 当社は、自己株式1,971,718株を保有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	15,325,642株
株主数	14,826名

役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役会長		惠本 司
代表取締役社長	社長執行役員	石栗 秀
取締役	専務執行役員	八巻 唯史
取締役	常務執行役員	木山 邦樹
取締役	常務執行役員	寺澤 秀和
取締役	※	浅羽 茂
取締役	※	橋本 秀一
取締役	※	中村 規代実
常勤監査役		古賀 啓
常勤監査役		藤崎 裕之
監査役	※	増本 善丈
監査役	※	鏡 高志
	上席執行役員	前田 孝幸
	上席執行役員	小島 洋司
	上席執行役員	田村 雅彦
	執行役員	菊池 文夫
	執行役員	林 政宏
	執行役員	黒氏 信好
	執行役員	寺山 佳之
	執行役員	白畑 康

※社外取締役・社外監査役

清水バイオ工場と総合研究所に太陽光発電設備を新設

清水バイオ工場と、総合研究所の敷地内に太陽光発電設備を設置し、稼働を開始しました。

太陽光発電設備は、両設備あわせて、太陽光パネル1,792枚、総パネル面積約4,313㎡です。年間計画発電量は1,037,000kWhを見込んでおります。



清水バイオ工場(北海道清水町)



総合研究所(北海道帯広市)

株主各位

証券コード2108
2023年6月29日

東京都港区三田三丁目12番14号

日本甜菜製糖株式会社

取締役社長 石栗 秀

第125期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第125期定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項
- 第125期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第125期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき50円(普通配当50円)と決定いたしました。
- 第2号議案 監査役3名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、古賀 啓、藤崎裕之、増本善文の各氏が監査役に選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、増本善文氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、大井素美氏が補欠監査役に選任されました。

以 上

おって、本定時株主総会終了後に開催の監査役会の決議により、常勤監査役として、古賀 啓、藤崎裕之の2氏が選定され、就任いたしました。

再 拝

期末配当金のお支払いについて

- 口座振込をご指定でない方には、「第125期 配当金領収証」および「第125期 配当金計算書」をご送付申し上げます。
期末配当金は、同封の「第125期 配当金領収証」により、払渡期間(2023年6月30日から2023年7月31日まで)内にお近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。
- 口座振込をご指定の方には、「第125期 配当金計算書」および「配当金振込先ご確認のご案内」を同封しておりますので、ご確認ください。
なお、株式数比例配分方式を選択された方は、配当金のお振込先や確定申告を行う際の添付資料等につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。

以 上

株主様アンケートを実施いたしました。

昨年12月に中間報告書の発送に併せ、株主様アンケートを実施いたしました。(単元株以上を保有する株主様を対象とさせていただきます。)

その結果、2,836名の株主様からご回答をいただきました。アンケート結果については会社HPに概要を掲載しております。

アンケートにご協力いただきました株主様に御礼申し上げます。

https://www.nitten.co.jp/shareholder_meeting.html

〈株式に関するお問い合わせ先〉

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

お取引の証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない
(特別口座に記録された)場合

三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)に
お問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先 0120-232-711 【通話料】
【無料】
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

特別口座からの振替のお手続きはお済みですか？

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。

特別口座から証券取引口座への振替をご希望の株主様は、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせの上、お手続き願います。

日本甜菜製糖株式会社

ホームページ <https://www.nitten.co.jp>

